

令和5年産

仙台麦作情報

2023. 4. 14 第6号

宮城県仙台農業改良普及センター

Tel 022-275-8410 Fax 022-275-0296

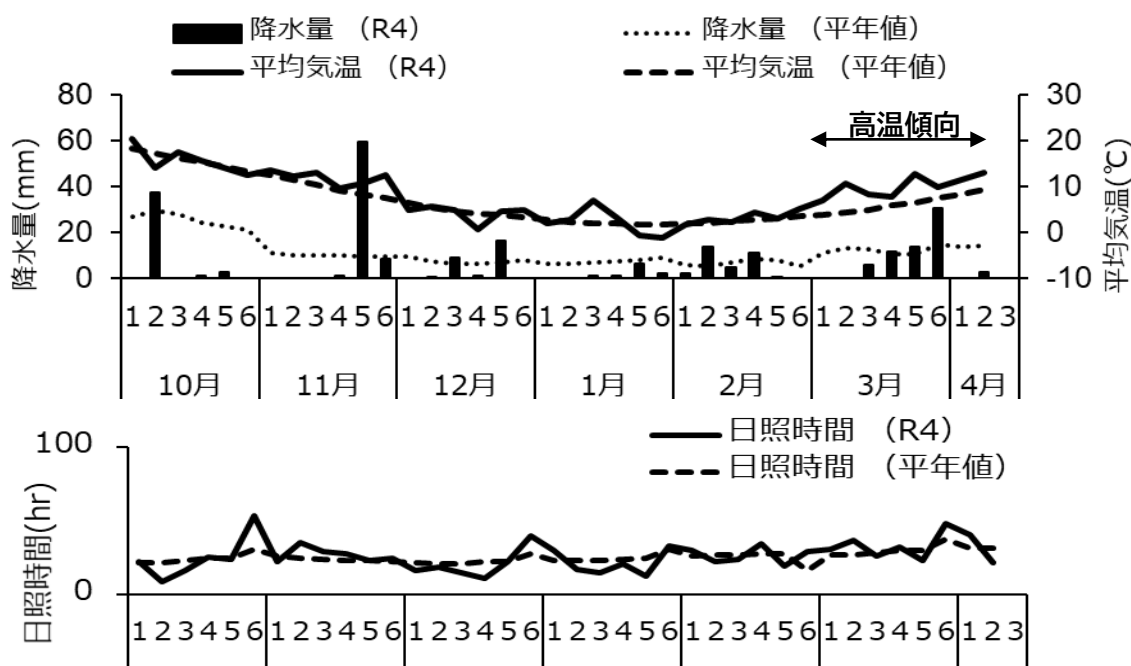
<https://www.pref.miyagi.jp/site/sdnk>



今後の栽培管理のポイント

- (1) ほ場排水の徹底 (2) 適期追肥の実施 (3) 赤かび病の適期防除 (4) 適期刈取

1 気象経過 (10月第1半旬～4月第2半旬、仙台アメダス)



- 平均気温は10月から概ね平年並で推移していましたが、3月以降は平年に比べて高い傾向が続いています。今後もしばらく平年に比べて気温が高い傾向が続く予報なので、麦の生育ステージをよく確認しましょう。

2 大麦生育調査結果 (4月11日現在)

- 仙台市 (シュンライ、ホワイトファイバー)

シュンライの幼穂長は4.6cm、ホワイトファイバーの幼穂長は3.7cmで、いずれも減数分裂期 (シュンライ: 4月7日、ホワイトファイバー: 4月9日) を迎え、昨年比べて早い生育となっています。

- 大和町 (ホワイトファイバー)

幼穂長は3.3cmで、減数分裂期 (4月10日) を迎えました。また、3月時点では鳥の食害が一部見られましたが回復しました。

表1 生育調査ほにおける生育ステージ比較

品種	ほ場	条間(cm)	播種日		減数分裂期		出穂期	
			本年	前年	本年	前年	本年	前年
シュンライ	仙台市 宮城野区	22.7	10月16日	10月22日	4月7日	4月19日	4月12日	4月23日
ホワイト ファイバー	仙台市 宮城野区	21.6	10月15日	10月24日	4月9日	4月16日	4月14日	4月28日
	大和町 落合	34.2	10月26日	—	4月10日	—	(4月20日)	—

※ () 内の日付は普及に移す技術第 91 号参考資料「麦類の生育ステージ予測シート」を参照して作成。

表2 生育調査ほにおける生育調査結果 (令和5年4月10～11日調査)

品種	ほ場	条間(cm)	播種日		草丈(cm)		茎数(本/m ²)		幼穂長(mm)	
			本年	前年差	本年	前年比(%)	本年	前年比(%)	本年	前年差
シュンライ	仙台市 宮城野区	22.7	10月16日	-6	60.1	204	445	67	4.6	+3.1
ホワイト ファイバー	仙台市 宮城野区	21.6	10月15日	-9	53.1	186	491	83	3.7	+2.0
	大和町 落合	34.2	10月26日	—	44.7	—	389	—	3.3	—



シュンライ(仙台市)



ホワイトファイバー(仙台市)



ホワイトファイバー(大和町)

3 今後の栽培管理

①排水状況の確認

- ・麦類は節間伸長期から登熟期にかけて、湿害の影響を受けやすくなります。降雨によるほ場の停滞水を速やかに排出することが重要です。

「暗きよの再点検 (閉じていないか)」「明きよの手直し」を行いましょう。

[節間伸長期～出穂期]に湿害が及ぼす影響→弱小分げつの枯死、穂数の減少、穂の縮小化

②適期追肥の実施

- ・大麦：すでに出穂しているほ場が多く見られます。出穂期以降の追肥は硬質麦になるおそれがあるので控えましょう。
- ・小麦：小麦も生育ステージは平年に比べて早い傾向にあります。減数分裂期と穂揃期を確認して追肥しましょう。

⇒追肥の量と時期は下記の表3を参考にしてください。

表3 追肥の目安

追肥の種類 (生育ステージ)		幼穂形成期 (幼穂長2~3mm)	減数分裂期 (幼穂長3cm)	穂揃期 (8~9割が出穂)
目的		有効茎歩合増加 (穂数の確保)	一穂粒数の増加 登熟良化	小麦の子実タンパク質 含有率の向上
大麦	時期	3月上~中旬	4月上~中旬	4月中~下旬
	10a当たり 施用量	窒素成分2.5kg (硫安12kg)	窒素成分2.5kg (硫安12kg)	硬質麦防止のため 実施しない
小麦	時期	3月下旬~4月上旬	4月下旬	5月中旬
	10a当たり 施用量	窒素成分2.5kg (硫安12kg)	窒素成分5kg (硫安25kg)	窒素成分2~2.5kg (硫安10~12kg)

※時期はおおよその目安であり、**実際には現地ほ場の幼穂長を確認し、追肥時期を判断**しましょう。
 ※大豆後のほ場では、生育旺盛の場合を除き、規定量の追肥を行っても問題ありません。

○減数分裂期の追肥（大麦、小麦）

- ・効果：1穂粒数の増加、登熟の向上
- ・減数分裂期に追肥を実施しないと、細麦化するおそれがあります。減数分裂期後の麦体への窒素供給量が少なくなり、1粒当たりの光合成産物の分配量が少なくなるためです。
- ・大麦では、追肥時期が遅れると硬質麦の発生原因となるため、幼穂長や止葉葉耳間長を観察し、適期に追肥を実施しましょう。
- ・「ホワイトファイバー」は、もち性大麦であり、高いβ.グルカン含有率が求められます。β.グルカン含有率の低下を避けるため、減数分裂期に追肥を必ず実施しましょう。

* 止葉葉耳間長による減数分裂期の推定について

- ・大麦（シュンライ、ホワイトファイバー、ミノリムギなど）
→ほ場の**2割程度**の茎が止葉葉耳間長**±0mm**に達したときが**減数分裂期**
- ・小麦（シラネコムギなど）
→ほ場の**4~5割程度**の茎が止葉葉耳間長**±0mm**に達したときが**減数分裂期**

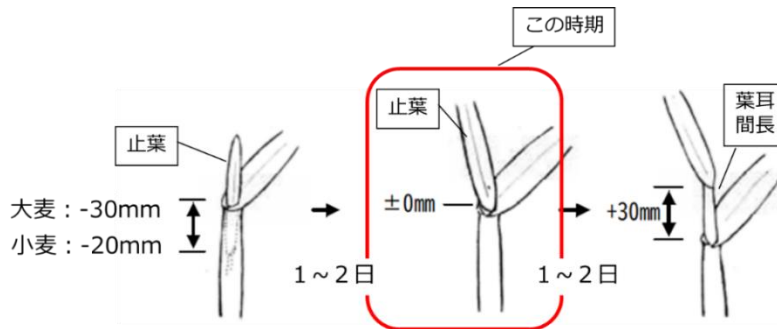


図1 止葉葉耳間長の形態的推移（普及に移す技術第 81、83 号参照）

○穂揃期追肥（小麦）

- ・効果：千粒重、容積重、子実たんぱく質含有率の向上
- ・小麦では、高いタンパク質含有率が求められます。品質を確保するため、追肥は幼穂形成期＋減数分裂期＋穂揃期の3回を基本とします。

③赤かび病の適期防除～2回防除が基本！～

今作は気温が平年に比べて高いため生育ステージが早い傾向です！
開花期の適期防除を逃さないように麦の生育ステージを確認しましょう！

- ・防除時期… **1回目（重要！）：開花始期～開花期**、2回目：1回目から7～10日後
※降雨が続く場合は、3回防除を行います（3回目：2回目から7～10日後）
- ・麦類の赤かび病は、子実収量や品質を低下させる重要病害となっています。また、人畜に有害なかび毒を産生するため、農産物検査では食用麦の赤かび粒混入限度が0.0%とかなり厳しくなっています。そのため、予防防除を徹底し、発生防止に努めましょう。
- ・ほ場の土壌水分が高いと、発生が助長されます。排水対策を徹底しましょう。

表4 調査ほにおける出穂期及び開花期予測（4月11日現在）

品種	ほ場	出穂期		開花期	
		本年	前年	本年	前年
シュンライ	仙台市 宮城野区	4月12日	4月23日	(4月24日)	—
ホワイト ファイバー	仙台市 宮城野区	4月14日	4月28日	(4月26日)	—
	大和町 落合	(4月20日)	—	(4月29日)	—

※()内日付は普及に移す技術第 91 号参考資料「麦類の生育ステージ予測シート」を参照して作成。
※出穂期は予測日よりも早い傾向となっています。今後も気温が高く推移し、開花期も予測日より早くなる可能性が高いため、**実際には麦の生育を確認し、防除を行いましょう。**

④適期刈取

- ・仙台市の一部地域では、4月7日時点で穂ぞろい期に入ったほ場が一部ある等、生育ステージの進んだところが見受けられます。今後も気温が高い日が続き、刈取適期も例年に比べて早くなることが予想されるので、麦の生育ステージを確認して準備しましょう。
- ・成熟期及び刈取り適期の目安

成熟期の目安：出穂期から 40～45 日後

麦の収穫は収量や品質面を考慮し、早刈りや刈遅れのないよう麦の生育状況に合わせて行いましょう。そのため実際にほ場で麦の状態を確認して、適期に刈取りを行いましょう。

○1 か月予報（4/15～5/14、仙台管区气象台）

向こう1か月	4/15～5/14	天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。平年と比べて、降水量は多い確率 40%、日照時間は少ない確率 40%です。
1週目	4/15～4/21	気温が平年に比べて高くなる確率 70%です。
2週目	4/22～4/28	気温が平年並の確率 50%です。
3～4週目	4/29～5/12	気温が平年に比べて高くなる確率 40%です。